

2020 年度 SUPA 主催大会/公認大会開催における、 新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドラインの適用について

初夏の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、日本スタンドアップパドルボード協会（SUPA）活動にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

また、新型コロナウイルス感染症対策につきまして SUPA HP で告知させて頂きました「SUP 活動の自粛要請」に対しまして、皆さまの真摯なるご協力に対しまして深く御礼申し上げます。

さらに、この新型コロナウイルス感染症の影響により、長期にわたる医療関係者の皆さまのご苦勞に対しまして、心より感謝と敬意を申し上げます。

さて、日本政府より 2020 年 5 月 25 日に発表されましたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言を全面解除されました。解除後のイベント開催等については、感染リスクをコントロールしながら 3 週間ごとに段階的に緩和する方針となり、また今後、新たな生活様式での社会経済活動を取りもどし、「新しい日常」を作り上げるとの発表もありました。

スポーツ庁からは 2020 年 5 月 14 日付けで各関係団体、業種や施設の種別ごとに新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドラインが公開されておりますが、スタンドアップパドルボードにおきましても、SUPA 主催／公認大会の開催における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドラインを公開させて頂きたいと存じます。

また、当該ガイドラインにつきまして、今後開催予定の公認大会での徹底遵守を前提としまして、遵守できる場合のみ「公認」認定とさせて頂きたいと存じます。

この拡大予防活動は、人々の命を守ることに大きくかかわりますので、大会運営における関係者の皆さまにはご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

一般社団法人日本スタンドアップパドルボード協会
理事長 福田 義明
安全対策部会 部会長 南里 尚志

2020 SUPA 新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン

(Ver.1.0)

※チェックリスト方式となっており、すべての項目にチェックが入ることが前提となります。

参加者、スタッフ、大会に関わる全て人に求める遵守事項

- 各自、感染対策に十分に配慮すること
- マスク等の準備・着用
- 大会参加前後の留意事項を確認しておくこと
- イベントの前後の移動やミーティング、懇親会等においても、三つの密を避けること

以下の事項に該当する場合は、選手・スタッフ・応援について自主的に参加を見合わせる（利用当日に書面で確認を行う）

- 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
- 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- マスクを持参すること（参加受付時や着替え時等のスポーツを行っていない際や会話をする際にはマスクを着用すること）
- こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること
- 他の参加者、主催者スタッフ等との距離（できるだけ2mを目安に（最低1m））を確保すること（障がい者の誘導や介助を行う場合を除く）
- イベント中に大きな声で会話、応援等をしないこと
- 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと
- イベント終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること
- イベントの前後のミーティングや懇親会等においても、三つの密を避けること

大会実施準備について

- 準備委員会等で集まる際には三密を避け、なるべくオンラインミーティングを行うこと
- 感染防止のため主催者が実施すべき事項や参加者が遵守すべき事項をあらかじめ整理し、チェックリスト化したものを適切な場所（イベントの受付場所等）に掲示すること

- 各事項がきちんと遵守されているか会場内を定期的に巡回・確認するスタッフを配置すること
- 障がい者や高齢者など利用者の特性にも配慮すること
- 万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取扱いに十分注意しながら、参加当日に参加者より提出を求めた情報について、保存期間（少なくとも1月以上）を定めて保存しておくこと
- イベント後に参加者から新型コロナウイルス感染症を発症したとの報告があった場合や、地域の生活圏において感染拡大の可能性が報告された場合の対応方針について、施設の立地する自治体の衛生部局とあらかじめ検討しておくこと

会場設営・運営について

- マスク等の準備
- レース中以外のマスク着用を求めること
- 開会式、閉会式、表彰式等の簡略化もしくは実施しない
- 大会前後のミーティングや懇親会等においても、三つの密を避けること
- 会話時にマスクを着用するなどの感染対策に十分に配慮すること

手洗い場所

- 手洗い場には石鹸（ポンプ型が望ましい）を用意すること
- 「手洗いは30秒以上」等の掲示をすること
- 始点、休憩所、終点にできるだけ手洗い場を確保すること
- 手洗い後に手を拭くためのペーパータオル（使い捨て）を必要に応じて用意すること（参加者にマイタオルの持参を求めても良い。布タオルや手指を乾燥させる設備については使用しないようにすること）
- 手洗いが難しい場合は、アルコール等の手指消毒剤を用意すること
- 更衣室、休憩・待機スペース
- 広さにはゆとりを持たせ、他の参加者と密になることを避けること（障がい者の介助を行う場合を除く）
- ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する参加者の数を制限する等の措置を講じること
- 室内又はスペース内で複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、イス等）については、こまめに消毒すること
- 換気扇を常に回す、換気用の小窓をあける等、換気に配慮すること
- スタッフが使用する際は、入退室の前後に手洗いをすること

洗面所

- トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、水洗トイレのレバー等）については、こまめに消毒すること
- トイレの蓋を閉めて汚物を流すよう表示すること
- 手洗い場には石鹼（ポンプ型が望ましい）を用意すること
- 「手洗いは30秒以上」等の掲示をすること
- 手洗い後に手を拭くためのペーパータオル（使い捨て）を用意すること（参加者にマイタオルの持参を求めても良い。布タオルや手指を乾燥させる設備については使用しないようにすること）

飲食物の提供時

- 近隣の保健所に要相談すること
- 参加者が飲食物を手にする前に、手洗い、手指消毒を行うよう声を掛けること
- スポーツドリンク等の飲料については、ペットボトル・ビン・缶や使い捨ての紙コップで提供すること
- 食品については、参加者が同じトング等で大皿から取り分ける方式を避け、一人分を小皿に取り分けたものを参加者に提供するなど、工夫を行うこと
- 飲食物を取り扱うスタッフにはマスクを着用させること

観客の管理

- 観客も参加させる場合には、観客同士が密な状態とならないよう、必要に応じ、あらかじめ観客席の数を減らすなどの対応をとること
- 大声での声援を送らないことや会話を控えること
- 会話をする場合にはマスクを着用すること等の留意事項を周知すること

ゴミの廃棄

- 鼻水、唾液などが付いたごみは、ビニール袋に入れて密閉して縛り、ゴミを回収する人は、マスクや手袋を着用すること
- マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹼と流水で手を洗い、手指消毒すること

参加募集について

募集時に以下の告知を行い、遵守を求めること。また、参加者が以下の事項に該当する場合は、事前もしくは当日に参加の見合わせを求めること。

- 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと
- マスクを持参・レース時以外の着用をすること
- 大会前2週間を遡り体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
- 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること
- 他の参加者、主催者スタッフ等との距離（できるだけ2mを目安に（最低1m））を確保すること（障がい者の誘導や介助を行う場合を除く）
- イベント中に大きな声で会話、応援等をしないこと
- イベント終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること

スタッフについて

- マスク等の準備・着用

全てのスタッフから以下の情報の提出を求めること

- 氏名、年齢、住所、連絡先（電話番号）※個人情報の取扱いに十分注意する
- 大会当日の体温
- 大会前2週間における以下の事項の有無
- 大会前2週間における平熱を超える発熱の有無
- 大会前2週間における咳（せき）、のどの痛みなど風邪の症状の有無
- 大会前2週間におけるだるさ（倦怠（けんたい）感）、息苦しさ（呼吸困難）の有無
- 大会前2週間における嗅覚や味覚の異常の有無
- 大会前2週間における体が重く感じる、疲れやすい等の有無
- 大会前2週間における新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
- 大会前2週間における同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- 大会前2週間における過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

参加者との接触について

- 参加者、他のスタッフ等との距離（できるだけ2 mを目安に（最低1 m））を確保すること
- 障がい者の誘導や介助を行う場合はなるべく顔を近づけないようように工夫すること
- レース中のレスキュー（リタイア含む）で接触する場合は要救助者にマスクを装着し、なるべく顔を近づけないようように工夫すること

当日の参加受付時の対応について

- 受付窓口には、手指消毒剤を設置すること
- 発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は入場しないように呼び掛けること（状況によっては、発熱者を体温計などで特定し入場を制限することも考えられる）
- 人と人が対面する場所は、アクリル板、透明ビニールカーテンなどで遮蔽すること
- 参加者が距離をおいて並べるように目印の設置等を行うこと
- 受付を行うスタッフには、マスクを着用させること
- インターネットやスマートフォンを使った電子的な受付の一層の普及を図り、受付場所での書面の記入や現金の授受等を避けるようにすること
- 当日の受付のほか、イベント前日の受付を行うなど当日の混雑を極力避けること

参加者から以下の情報の提出を求めること

- 氏名、年齢、住所、連絡先（電話番号）※個人情報の取扱いに十分注意する
- 大会当日の体温
- 大会前2週間における以下の事項の有無
- 大会前2週間における平熱を超える発熱の有無
- 大会前2週間における咳（せき）、のどの痛みなど風邪の症状の有無
- 大会前2週間におけるだるさ（倦怠（けんたい）感）、息苦しさ（呼吸困難）の有無
- 大会前2週間における嗅覚や味覚の異常の有無
- 大会前2週間における体が重く感じる、疲れやすい等の有無
- 大会前2週間における新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
- 大会前2週間における同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合

□大会前2週間における過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

レース中における留意

□ウォーミングアップ、競技中、マスクをしていない場合には、十分な距離を空けるよう特に留意をする必要があること

(※) 感染予防の観点からは、少なくとも2mの距離を空けることが適当である。

□運動・スポーツの種類に関わらず、運動・スポーツをしていない間も含め、感染予防の観点から、周囲の人となるべく距離(※)を空けること
(介助者や誘導者の必要な場合を除く)

□唾や痰をはくことは極力行わないこと

□タオルの共用はしないこと

□飲みきれなかったスポーツドリンク等を指定場所以外に捨てないこと

□スタートはなるべく距離を開けること(少人数でのウェーブスタート推奨)

以上